

#1: 新しい人としての召会は霊的戦いに従事して神の敵を打ち破り、神の王国をもたらすI. 新しい人としての召会は、神の永遠の定められた御旨を成就します:

- A) 人を創造した神の目的は、団体の人を得て、神を表現させ神を代行させることでした:  
 ①創世記第1章で神が人を創造したことは、神の新創造における一人の新しい人の絵です。  
 ②新しい人としての召会は、神の意図における団体の人であり、この新しい人は、神を表現し神を代行するという二重の定められた御旨を完成します。
- B) 神は団体の人を創造して、万物に対する統治権を持たせることによって神を代行させました:創1:26 それから、神は言われた、「われわれのかたちに、われわれの姿にしたがって、人を造ろう。そして彼らに、…治めさせよう。28 神は彼らを祝福された。そして神は彼らに言われた、「生めよ、また増えよ。そして地に満ちよ、そして地を従わせよ。そして…治めよ」。  
 ①人に統治権を与えた神の目的は、人が神の敵、すなわち神に反逆したサタンを従わせ、地を回復し、地に対する神の権威を行使して、神の王国が地に来て、神のみこころが地で行なわれ、神の栄光が地で現されるようにすることです。  
 ②人が統治権を持って万物を治めるという神の意図は、新しい人としての召会によって完成されます。
- C) もし人がサタンの強奪した地を回復していないなら、人を創造した神の目的にまだ到達していません:  
 ①サタンを対処することは神の益のためであり、神の必要を満たします。  
 ②サタンを対処することは、私たちが極めて大きな代価を払うことを必要とします。自己は完全に捨てられなければなりません。  
 ③私たちはサタンの手から地を回復するために、完全に絶対的に神と神の定められた御旨のためでなければなりません。
- D) 団体の新しい人としての召会は団体の戦士であって、神の敵を打ち破り、神の王国をもたらします:エペソ 6:11 神のすべての武具を身に着けなさい。悪魔の策略に敵対して立つことができるためです。13 こういうわけで、神のすべての武具を取りなさい。それは、あなたがたが悪悪な日にあつて抵抗することができ、またすべてのことをやり抜いた後も、なお立つことができるためです。  
 ①戦士としての召会は、新しい人としての召会の一面です。  
 ②新しい人としての召会は戦士であって、神の敵と戦います。なぜなら新しい人は神の定められた御旨を完成して神を表現し、神の統治権、神の王国のために神の敵と戦うからです。

II. 私たちは神のエコノミーを知るために、物質の事物の背後にある霊的な事物、物質の世界の背後にある霊的な世界を見る必要があります:

- A) 私たちが見るべき極めて重要なことは、物質の光景の背後に霊的な闘争、人の目に見えない闘争が起こっているということです。
- B) 私たちが戦う中で、対処するのは表面に現れる事物ではなく、これらの事物の背後にある暗やみの力です。  
エペソ 6:12 というのは、私たちの格闘は血肉に敵対するものではなく、支配者たちに、権威者たちに、この暗やみの世の主権者たちに、天上にいるあの悪の霊の勢力に、敵対するものだからです。
- C) 啓示録第12章は天における戦いに関する大きなビジョンを提示しています。これは宇宙における神と神の敵との間の戦いです。この章のビジョンは、宇宙における真の情況、神の敵が神と戦っているという光景を明らかにしています。  
啓 12:9 こうして、その大きな龍、あの太古の蛇、「悪魔」とか「サタン」とか呼ばれる者、人の住む全地を欺く者は、投げ落とされた。彼は地に投げられ、その使いたちも彼と共に投げ落とされた。

III. 霊的戦いが必要であるのは、サタンの意志が神の意志(みこころ)に対抗しているからです:

マタイ6:10 あなたの王国が来ますように。あなたのみこころが天で行なわれているように、地でも行なわれますように。7:21 私に向かって「主よ、主よ」と言う者がみな、天の王国に入るのではなく、天におられる私の父のみこころを行なう者だけが入るのである。

- A) 新しい人としての召会がどのようにして神の戦士となって、霊的戦いに従事することができるかを知ろうとするなら、私たちは宇宙に三つの意志(神の意志、サタンの意志、人の意志)があることを認識する必要があります。
- B) 霊的戦いの源は、神の意志とサタンの意志との間の衝突にあります:  
 ①ルシファーの高い地位と美のゆえの傲慢は悪意を起し、それはサタンの意志となりました。エゼキエル 28:12 「人の子よ、ツロの王のために哀歌を携えて、彼に言いなさい。主エホバはこう言われる、完備の極みで、知恵に満ち、美において完全であるあなたよ、17 あなたの心は自分の美しさのゆえに持ち上げられ、あなたは自分の輝きのために知恵を腐敗させた。私はあなたを地に投げ、王たちの前に置いて、彼らがあなたをさらしものにした。イザヤ14:13 おまえは心の中で言った、『私は天に昇ろう。私は神の星の上に、私の座を高く上げよう。私は北の果てにある集会の山に座ろう。14 私は雲の高い所の上に昇ろう。私はいと高き方ようになるよ。15 しかし、おまえはシェオール[陰府]に、穴の奥底に落とされる。②神の天使長が起き上がって神の意志に敵対する前、宇宙に戦いはありませんでした。ルシファーの反逆は、今や国家、社会、家庭において、個人の内側で起こっているすべての戦いの始まりでした。
- C) 神は、彼の被造物である「人」が、彼の墮落した被造物である「サタン」に対処することを願っています。このために、人の意志は神の意志と共に立たなければなりません。
- D) 召会として、私たちの戦いはサタンの意志を従わせ、神の敵を打ち破ることです。

IV. 霊的戦いの目的は、神の王国をもたらすことです:啓 11:15 …すると、天に大声があつて言った、「世の王国は、私たちの主と彼のキリストの王国となった。彼は永遠にわたって王として支配される」。12:10 今、私たちの神の救いと力と王国と、彼のキリストの権威とが来た。私たちの兄弟たちを訴える者、昼も夜も私たちの神の御前に彼らを訴える者が、投げ落とされたからである。11 兄弟たちは、小羊の血のゆえに、また彼らの証しの言のゆえに、彼に打ち勝った。彼らは死に至るまでも、自分の魂の命を愛さなかった。

- A) 霊的戦いは、神の王国とサタンの王国との間の戦いです。
- B) 神の王国は自動的に来るものではありません。神の王国が来るために、霊的戦いの必要があります。
- C) 召会の責任は、キリストが地上で戦った戦いを継続することです。召会は、キリストがサタンに対して遂行した勝利の働きを継続しなければなりません。詩 149:4 エホバは彼の民を喜び、へりだる者を、救いをもって飾られるからである。5 誠実な者に栄光の中で喜び躍らせ、自分の床の上で喜びの叫びを響きわたらせよ。6 彼らののどに神への高い賛美が、彼らの手にもろ刃の剣があるようにせよ。7 それは諸国民への報復と、もろもろの民への懲罰を行ない、
- D) 神の王国は神の意志を行使すること、また神の力によってサタンの力を覆すことです。
- E) 悪魔が追い出されている所はどこでも、また敵の働きが神の力によって取って代わっている所はどこでも、神の王国があります。マタイ 12:28 しかし、私が神の霊によって悪鬼どもを追い出しているのであれば、神の王国はあなたがたに臨んでいるのである。

V. 「あなたの民は、あなたの戦いの日に、献身の輝きの中で、自発のささげ物となる」(詩 110:3 前半):

- A) 霊的な意味で、私たちは今キリストの戦いの日におり、このために、私たちは自発のささげ物となる必要があります。
- B) 霊的戦いに従事して、神の敵を打ち破り、神の王国をもたらすために、私たちは主に対して絶対的で徹底的な献身を必要とします。神の目に、そのような献身は輝きの事柄です。

## 経験①: 福音の宣べ伝えと正常な召会生活の実行のために、兄弟姉妹と共に霊的戦いを戦い抜く

私たちは、福音を妨げるものは外側の環境でなく、サタンであることを知ります。私たちは、人々を強奪し、人々に主を愛させないのは人のきずなではなく、この世でもなく、肉でもなく、サタンの暗やみの力であることを知ります。私たちはまた、召会の中のすべての混乱、争い、無関心、腐敗の原因がサタン以外の何ものでもないことを知ります。ですから、私たちは表面に現れる事柄ではなく、昇天の地位と権威を通して、これらの事柄の背後でたくらんでいる暗やみの力を対処し、地上で王として支配します。

この世の人々は明らかな外側の事柄、商業、政治、産業、教育、戦争を見ることができるだけです。あなたがこのすべての意義を尋ねるなら、彼らは知らないと言うでしょう。彼らが知っているのは、教育を受けて良い職業に就き、良い生計を得ることだけです。彼らは宇宙で起こっていることについてのビジョンを持ちません。…もしこのビジョンを持たないなら、あなたは盲目であって、地上で、あるいは宇宙で何が起こっているのかわかりません。主を賛美します。それは単に教育、工業、商業、外交などの事柄ではなく、神の民と神の敵との間の戦いの事柄です。この戦いは何世紀にもわたって激烈であり、今日も依然として激烈です。

### 在職青年編

ダニエル10:11 彼は私に言った、「尊ばれる人、ダニエルよ、私があなたに告げようとしている言葉を理解し、あなたの場所に立ちなさい。私は今、あなたに遣わされたからです」。彼がこの言葉で私に語ったとき、私は震えながら立ち上がった。12 彼は私に言った、「恐れてはなりません。ダニエル、あなたが心を定めてこの事を理解しようとし、またあなたの神の御前であなた自身を悩ませようとした初めの日から、あなたの言葉は聞かれているからです。私は、あなたの言葉のゆえに来たのです。13 しかし、ペルシャの王国の君が二十一日間、私に立ちだかかったが、第一の君の一人ミカエルが来て私を助きました。私がペルシャの王たちと共に、そこにどまつていたからです。20 そこで、彼は言った、「なぜ私があなたの所に来たかを知っていますか？ 今私は戻って、ペルシャの君と戦います。私が出て行くと、ヤバンの君がすぐにやってきました。21 しかし、真理の書に記されていることを、あなたに告げましょう。あなたがたの君ミカエルのほかには、私と共に、これらの者に強く立ち向かう者はだれもいません。

FN11-1:キリストのビジョンの後、ある御使い(ガブリエルであったでしょう)がダニエルの所に来て、彼の祈りに答えました。彼はダニエルに二十一日間、彼自身がペルシャの王国の君と戦ってきたと告げました。ペルシャの王国の君はおそらく、サタンに従って神に反逆した邪悪な霊、反逆の大使であり、サタンに託されてペルシャを助けた者でしょう。こうして、ダニエルがそれらの日々に祈っていた時、霊的な闘争が空中で二つの霊の間に起こっていました。一つはサタンに属し一つは神に属します。別の邪悪な霊、ギリシャ(ヤバンの)の君が来ようとしていました。天使長ミカエルだけが、イスラエルのために戦う君であり、その御使いと共に邪悪な霊と戦っていました。さらに御使いはメディア人ダリヨスの統治の第一年に立ち上がって彼を支え、力づけ、彼が王国を受けるようにしました。このすべては、物質の光景の背後に霊的な闘争、目に見えない霊的な戦いが進行していることを示します。

先週の火曜日の午後から主日まで、魚崎で月に1回の福音開展を行ないました。福音開展に直接携わらない兄弟姉妹も含めてすべての兄弟姉妹は、福音が霊的戦いであることを認識してください。福音を宣べ伝えようとすると、急に仕事が忙しくなったり、業務上の妨害が入って来たりします。これはあなたに福音開展にあずからせないようにする、サタンの背後の働きから来ます。したがってあなたは福音開展のために、ビジネス・ライフについても戦う霊を持ち、目を覚まして祈る必要があります。この戦いを認識し、召会が団体の戦士としてサタンに敵対して立たなければ、福音は日本で優勢になることは決してできません。主の回復の諸召会は、「サタンの勢力の優勢な日本において、福音が優勢になり、サタンに恥をかかせる」という志を持って召会生活を実行すべきです。

「英紙は6月20日、神戸市水道局の男性職員が勤務中に約3分間の中抜けを繰り返したとして減給処分になったことを紹介し、『苛酷な仕事文化』などの見出しで報じた。神戸市によると、職員は昨年9月からの7カ月間で26回、昼休み前にそれぞれ約3分間職場を抜け出し、近くの飲食店で弁当を注文していた。上司に『昼休みに行く待たされる』と説明したという。英紙は『トイレに行ったとしても許されないのか？職場の奴隷のようだ』、『全くばかげている』といったネット上の反応を紹介した上で『このケースは、従業員がめったに病気で休まず、信じられないほど長い時間働く日本の仕事文化の本質に関する議論を再燃させた』と論評している。」

ビジネス・パーソンとしてあなたは、日本においては過酷な仕事文化があることを認識してください。この文化の背後にはサタンが存在します。このような状況で、あなたは一生懸命働いて業績を伸ばすと同時に、あなたは霊的戦いを戦って残業時間を制限することと神に信頼することを学ばなければなりません。そうでないとあなたはビジネス・ライフで疲弊してしまい、正常な召会生活を実行することはできません。

## 経験②: 霊的戦いにおいて、へりくだって神の意志の側に立つ

二一兄弟は、宇宙には三つの意志があることを指摘しました。それは神の意志(みこころ)、サタンの意志、人の意志です。召会がどのようにして神の戦士となって、霊的戦いに従事することができるかを知ろうとするなら、私たちはこの三つの意志、この三つの意図を知らなければなりません。神の意志は、自ら存在し、永遠であり、非受造のものです。創造されたものとして、天使たちも意志を持っています。これらの天使の一人、天使長は、神によって任命されて、アダムの創造の前に存在していた宇宙を支配していました。彼の高い地位と美のゆえに、この天使長は傲慢になりました。この傲慢は邪悪な意図を起し、それはサタンの意志となりました。

すべての戦いの源は、この二つの意志の間の衝突にあります。サタンの意志が起き上がって神の意志に敵対する前、宇宙に戦いはありませんでした。宇宙における論争は、神に対する天使長の反逆で始まりました。その反逆は、今や国家、社会、家庭において、個人の内側で起こっているすべての戦いの始まりでした。歴代、国家、集団、人民、個人の内側でさえ、戦いが続いています。例えば、あなたは自分の理性と情欲の間の内なる戦いを経験するでしょう。さまざまな種類のすべての戦いの源は、神の意志とサタンの意志との間の衝突にあります。…三つの意志がりましたが、衝突は二つの当事者、神とサタンだけを含みました。極めて重要な問題は、人が神の意志を選ぶか、それともサタンの意志を選ぶかということでした。人の意志が神の意志と共に立つなら、神の意志は達成されたでしょう。

### 中高生編

エゼキエル28:17 あなた(ルシファー)の心は自分の美しさのゆえに持ち上げられ、あなたは自分の輝きのために知恵を腐敗させた。私はあなたを地に投げ、王たちの前に置いて、彼らがあなたをさらしものにした。詩149:4 エホバは彼の民を喜び、へりくだる者を、救いをもって飾られるからである。5 誠実な者に栄光の中で喜び躍らせ、自分の床の上で喜びの叫びを響きわたらせよ。6 彼らのものに神への高い賛美が、彼らの手にもる刃の剣があるようにせよ。7 それは諸国民への報復と、もろもろの民への懲罰を行ない、

ルシファーは高ぶりのゆえに、神の敵サタンになってしまいました。霊的戦いにおいて、神の意志に立ち、サタンの意志に敵対するために、あなたはへりくだることを学ぶべきです。あなたの高ぶりは自分から来ているようですが、実はサタンから来ています。高ぶっているとき、あなたはサタンの意志につながっています。サタンに敵対するため、へりくだって神に来る必要があります。

中高生であるあなたは、主の中にあるあなたの地位と祝福のゆえに、主に感謝し、賛美してください。感謝と賛美はサタンの高ぶりに対する強烈な対比であり、サタンを恐れさせます。また神はへりくだる者に恵みを与えられます。例えば大学受験で合格することがとても困難でしたが、兄弟姉妹に祈ってもらい、自分自身も主に祈ることで最終的に合格することができました。このときある人は高ぶって自分に栄光を帰します。これはサタンの意志の側に立つことです。あなたは正しい事実認識の下で、「自分のような者がこの大学に合格したのは、主と召会の支えのゆえです」と証しする必要があります。これは神の意志の側に立つことであり、あなたの内側のサタンのささやきを拒絶することです。あなたは戦いのただ中におり、自分の中の高ぶりにいつも警戒する必要があります。

1ペテロ5:5 神は高ぶる者に敵対し、へりくだる者に恵みを与えられるからです。